

あじさいだより

平成31年新年増刊号

特別養護老人ホームあじさい園

<http://www.ajisaien.or.jp/>



あけましておめでとございます。

新しい年をお迎えするにあたり、初心にかえり私達のもつ介護力・福祉力を活用し、お一人おひとりを敬い、共に支え合う地域作りを推進して参ります。福祉の要となれますようご指導ご支援をよろしくお願ひいたします。お気づきの事はお気軽にお話し下さり見舞いをお育て下されば幸いです。

さて「一期一会」について。小林秀雄「美を求める心」の一節を紹介させていただきます。

「たとえば諸君が野原を歩いていて、一輪の美しい花の咲いているのを見たとする。みるとそれはすみれの花だとわかる。なんだすみれの花かと思つた瞬間に、諸君はもう花の形も色もみろのを止めるでしょう。諸君は心の中でおしゃべりをしたのです。すみれの花という言葉が諸君の心のうちに入ってくれば、諸君はもう眼をとじるのです。それほど黙つてもものを見るということはむずかしいことです。すみれの存在と解かるということは、花の姿や色の美しい感じを言葉でおきかえてしまうことです。言葉のじゃまのいらぬ花の美しい感じをそのままちつづけ、花をだまして見つけていけば、花は諸君にかつて見たこともなかったような美しさを、それこそ限りなく明かすでしょう。」

私達がその時その時に出会う花は、本当は一期一会であります。貴重であるはずのその花との出会いも一瞬で十把ひとからげ、「すみれ」という抽象概念におきかわつて認識され処理されてしまいます。

その過程で花の姿や色の美しい感じをうけとめる感性は働かなくなります。言葉にあやつられることなく、素直にその花の美しい感じを持ちつづけ、そこには何があつて何がおきていのかを虚心坦懐に見る」といふこと、それが本来の一期一会の持つ意味である、とおそろりました。

こうでいふ花は人にもおきかえられます。人と人との出会いも、人と自然との出会いも敬う気持ちを大切にしたいと思ひます。

ひとつひとつのご縁に感謝し、専門家として機転のある対応、謙虚に学び、笑顔でコミュニケーション、心身共に快適な環境維持のため清潔をと、5つの基本理念を胸に、今年も職員一同つとめて参ります。

新年祝賀会 2019年元旦



運営推進委員長 岡井稲郎様

紋付袴姿に皆様大変喜ばれました。

ご来光が眩しく降り注ぐ元旦の朝、あじさい園ホールにおいて新年祝賀会が開催されました。園長と運営推進委員長の岡井様より新年の挨拶があり、園歌「あじさいの園」「一月一日」を歌いました。太鼓の音が響くと、恒例の「獅子舞登場」。今年からリニューアルとなった若獅子は、水を得た魚のように皆様の間を舞い踊って華を添え、笑顔いっぱいのお正月となりました。



松村清子園長

桂歌丸師匠「言葉はお腹から」



締めくくりに、大きな声で万歳三唱！



2019年おせち料理



元旦のお昼は、手作りの美味しいおせち料理を頂きました！



田原の千本づき



十二月三十日、田原地区のみなさまにご協力いただき、「田原の千本づき」が行われました。大きな石うすに蒸したお米を入れ、複数の餅つき棒でついていきます。「千本づき」には、「餅つき唄」が欠かせません。お餅つきを見学しながら、みなさんと歌って応援しました。つきあがったお餅が、餅つき棒で高々と持ち上げられると歓声が上がります。あじさい園のお餅はお年寄りが召し上がりやすいよう、団子粉を混ぜて作られます。つきたてのお餅にあんこときなこをまぶすと、優しく甘い香りが広がりました。